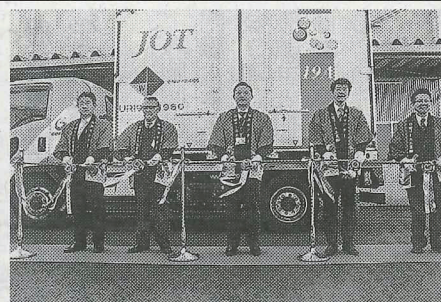


鋼道路橋（歩道橋を除く）の上部工の補修または補強工事（支承取り換え工事、耐震改良工事を含む）の施工実績。JVの構成員は、橋梁（メタル）の施工能力点が1050点以上で、鋼道路橋上部工の補修または補強工事、道路橋上部工以外の鋼構造物（標識・遮音壁・伸縮継ぎ手などの橋梁付属物を除く）の補修または補強工事の施工実績など。



（右から）関山社長、中島執行役員、千

設物が浮上する様子を再現したところ、児童は驚いた表情を見せていた。児童が「なぜマップピンは浮いてくるのですか」と質問したのに対し、居森氏は「水の重さより軽いものが地中にあると浮いてしまふ。浮力といえます」などと説明した。

このほか授業では建設業とゼネコンの仕事内容とその重要性も解説。居森氏が手掛けた雨水貯留管などのプロジェクトも紹介し「建設の仕事はある意味、地球この格闘で大変なときもあ

る。それでも、このものが地図に残った人にとって、この仕事の魅了。児童からの質問は「通常は5日働きますか」「物によっては6日という場合もあるが今、土日は必ず休もうという取り組みが進んでいます」と答えた。

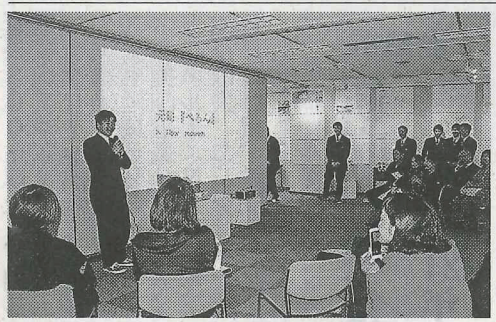
最後に居森氏は「いろいろな仕事の話を聞いて、自分はどうな仕事に就きたいかを考えてください」と児童に語り掛けた。

2019年2月14日 日刊建設工業新聞

泉佐野市長をはじめ水産・物流業界などから関係者が多数出席した。

兵庫工高校建築科 卒業展を一般公開

総合資格学院ら協賛



兵庫県立兵庫工業高校（神戸市兵庫区）の建築科3年生38人による「卒業2019」（協賛：総合資格学院、兵庫県建築士事務所協会、兵庫県建築士会、兵庫県建設業協会）が8～10日、神戸市中央区のアートホール神戸で開かれた。学校生活の集大成となる卒業設計や住宅模型、設計コン

した。施設面積は約2200平方メートル、14槽の水槽を

の作品など37点を展示。9日には選抜作品10点の発表会が行われた。写真。発表会で生徒らは自由な発想で制作した作品の設計コンセプトを熱弁。岸本主人さんによる通行者が気軽に立ち寄ることができる大丸神戸店前の博物館「元町べろん flow museum」など、斬新なアイデアの作品が出そろった。

館野拓教諭は「卒業展の学外開催は今回が初めてで、一般の方に作品を見てもらうことで生徒らの制作意欲の向上につながった。先輩たちへの刺激になって来年以降も開催できるようにしたい」と話していた。選抜作品は次の通り。敬称略。

- more in the mountains
- 岸本圭人 元町べろん flow museum
- 大石麗未 in the wood 森の中の劇場
- 竹村圭太 新ポートアイランドスポーツセンター 成長蔓延の競技場
- 柳瀬春香 多機能rugby field
- 同（木材加工班）
- 木村隆真 未来設計
- 卒業制作（インテリアコース）
- 風景太 暮らしの中の自然と灯り シーンによって雰囲気が変わる家
- 灘井寿姫 光と灯り Only two people's times
- 同（尼崎市立尼崎養護学校旧校舍模型制作班）
- 久保優翔・神足泰地・土居菜那美・中田朋伽・風景太・村上友生 尼崎市立尼崎養護学校旧校舍模型製作。

海外への流通展開も視野に入れる。式典の後、千代松市長と

道路環境調査業務」の委託先を選定する公募型プロポーザル（WTO対象）の手続きを開始した。18日まで参加表明書、4月9日まで技術提案書を受け付ける。

参加資格は近畿整備局（港湾空港関係を除く）の19・20年度土木関係建設コンサルタント業務の認定を受けている単体企業、組合または設計共同体。

技術提案書を選定するための評価基準は、配置予定技術者の資格、同種または類似業務の実績、地域精通度、担当した業務の成績、業務の理解度、実施方針の妥当性、実施手順や工程表の妥当性、評価テーマに関する技術提案など。

（仮称）名神湾岸連絡線の道路環境影響評価について、概要書などで規定した評価項目・手法で現地調査と予測・評価を行い準備書（案）を取りまとめる。技術検討委員会を運営し、技術的助言を受け準備書（案）を作成する。履行期間は20年3月20日まで。